



Dec.2023 - Jan.2024

こ ん な 本



読 ん で み て

No.104

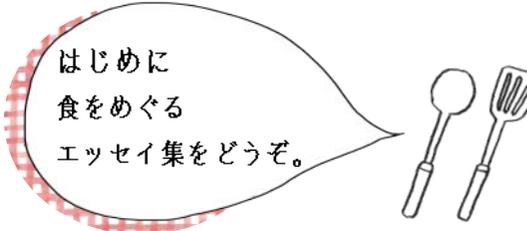


目次

Bon Appétit	1
MIETAN 本つなぎ 第12回	6
Book design の世界 vol.34	10
ちょこちょこ日記 #44	12



いつもよりちょっとだけ時間をかけて、  
ほんの少しだけこだわって、  
食事の時間を楽しんでみませんか。  
ごちそう ごほうび めしあがれ。



『ショートケーキを許す』



著者／森岡督行  
出版社／雷鳥社  
出版年／2023年  
請求記号／  
596.65||Mo 62

およそ100年前に生まれたという日本のショートケーキ。25のお店のショートケーキをめぐるエッセイを通して、ショートケーキへの愛が伝わる一冊です。

『やわらかなレタス』



著者／江國香織  
出版社／文藝春秋  
出版年／2011年  
請求記号／  
914.6||E 44

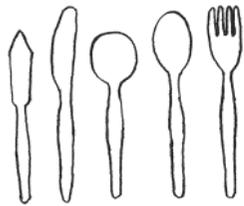
作家・江國香織さんの日常や旅の中にある幸せな食事の風景が美しく描かれたエッセイ集です。ページをめくるたび温かな気持ちになります。

『洋食小川』



著者／小川系  
出版社／幻冬舎  
出版年／2019年  
請求記号／  
914.6||O 24

作家・小川系さんの台所での日々を綴ったエッセイ集。登場するシンプルでおいしそうな食べ物を読んでいるうちに穏やかな気持ちになれる一冊です。



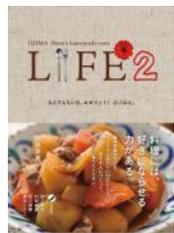
## 『盛りつけエブリデイ』



著者／植木俊裕  
出版社／KADOKAWA  
出版年／2017年  
請求記号／  
596||U 39

料理の盛りつけ方のコツを教  
えてくれる一冊。盛りつけ方を  
ちょっと工夫するだけで、おしゃ  
れでおいしそうに一皿に変身  
します。年末年始の食卓もぐっ  
と華やかになります。

## 『Life2 なんでもない日、 おめでとう!のごはん。』



著者／飯島奈美  
(料理・スタイリング),  
大江弘之(写真)  
出版社／  
東京系井重里事務所  
出版年／2009年  
請求記号／596||I 27||2

フードスタイリスト・飯島奈美さ  
んのレシピ集。食にまつわる  
エッセイも添えられています。  
クリスマスにぴったりのチキン  
やケーキのレシピもどうぞ。

## 『とにかく盛り上がる 夜ごはん』



著者／小田真規子  
(料理), 仲島綾乃(絵),  
谷綾子(文)  
出版社／文響社  
出版年／2019年  
請求記号／596||O 17

一日の締めくくりとして「パー  
ティ夜ごはん」を提案するこち  
らの本。とにかくにぎやかで、  
楽しいアイデアいっぱいの一  
冊です。

## 『志麻さんの 何度でも食べたい 極上レシピ』



著者／志麻  
出版社／マガジンハウス  
出版年／2018年  
請求記号／596||Sh 35

伝説の家政婦としてテレビな  
どでも活躍中の志麻さんのレ  
シピ集です。シンプルでおい  
しいフランスの家庭料理を味  
わってみてください。

## 『パスタ365』



著者／阪下千恵  
出版社／永岡書店  
出版年／2023年  
請求記号／596.23||Sa 36

定番パスタから少しぜいたく  
な食材を使ったおもてなしパ  
スタまで、365のレシピから  
今日の気分ぴったりのパス  
タが見つかる一冊です。

## 『食材2つでささっと メインディッシュ。』



著者／ワタナベマキ  
出版社／主婦の友社  
出版年／2016年  
請求記号／596||W 46

食材2つで手軽に作れる料  
理がたくさん紹介されていま  
す。食材の意外な組み合わせ  
で、おしゃれなメインディッ  
シュが完成できそうです。

## 『dancyu 煮込みの本。』



出版社／  
プレジデント社  
出版年／2016年  
請求記号／  
596||D 36

煮込み料理のレシピ集です。  
完成するまで2日ほどかかる  
レシピも。じっくり煮込んだ時  
間の先に驚くほどのおいしさ  
が待っています。

## 『満月珈琲店の レシピ帖』



著 者／桜田千尋  
出版社／主婦の友社  
出版年／2022年  
請求記号／  
596.65||Sa 46

イラストレーターの桜田千尋さんが描く架空の喫茶店「満月珈琲店」のメニューを再現した本書。夢のような美しさに包まれるレシピ集です。

## 『世界のホットドリンク レシピ』



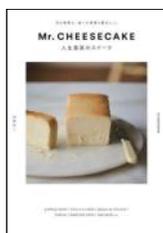
編 者／誠文堂新光社  
出版社／誠文堂新光社  
出版年／2014年  
請求記号／  
596.7||Se 17

ホットドリンクを味わうのは寒い季節の楽しみの一つです。世界各地の温かい飲み物で旅行気分。リラックスタイムにどうぞ。

最後に  
デザートは  
いかがでしょう。



## 『Mr.CHEESECAKE 人生最高のスイーツ』



著 者／田村浩二  
出版社／扶桑社  
出版年／2021年  
請求記号／  
596.65||Ta 82

人気チーズケーキブランドのシェフが教える37のレシピ。スイーツやドリンクを作って、豊かな時間を過ごしてみませんか。

## PICK UP! 電子書籍



三重短生のみなさんが利用できる電子書籍から2タイトルをご紹介します。電子書籍は、図書館ホームページでマイページへログインすると使えます。くわしくは、電子書籍ページをご確認ください。👉



## 『新版 いちごのお菓子』

著 者／若山曜子  
出版社／マイナビ出版  
出版年／2022年



おいしくてかわいいちごの魅力がたっぷりつまった一冊です。ジャム、ショートケーキ、タルトなど、作って、ながめて、食べてときめく47レシピが紹介されています。

## 『ベイク! 休日が楽しみになる 焼き菓子レシピ』

著 者／Yutaokashi (ユータ)  
出版社／山と溪谷社  
出版年／2023年



手に入りやすい食材で作る焼き菓子レシピ集。チョコレートチップクッキー、マフィン、スコーンなど、どれも本当においしそうで作ってみたいくなります。楽しく作って、おいしく食べて、素敵な時間を過ごしてみませんか？

三重短生の  
おすすめ本をリレーして  
三重短を  
本でつなげたい！

第 12 回



おにぎりさん  
食物栄養学科  
2年

かえるさん  
食物栄養学科  
2年

ー今日はよろしくお願ひします。早速ですが、かえるさんのおすすめ本は何ですか？

かえる 『クスノキの番人』（東野圭吾著／実業之日本社／2020年）です。

ーこの本のどういうところが好きですか？

かえる 東野圭吾は、ミステリー作家ですが、めっちゃあったかい作品も書けるから、そこが好きなんです。ファンタジーの部分を入れるのがめっちゃうまくて、すごい奇跡が起こったり、この世界と全部が同じじゃない世界が書かれていて。小説ってやっぱり物語だから、全部がこの世界と同じような物語が私はあまり好きじゃなくて、ちょっとこの世界とは違うところが入ってる作品が好きだから、これはめっちゃおすすめです。ミステリーの部分もあるし、家族についても書かれていて、あったかい部分もある感じですね。先祖代々がいて、私たちがいるんだなっていうのを、認識させてくれる作品なんです。ちょっと大人になってくると、やっぱり、おばあちゃんとかも年取ってくるから、色々考えられてすごくよかった。主人公は若めのちょっとちゃらんぽらん感じの人で、まだよくわからないことだけど、だんだん色々考えていくんです。大学生ぐらいの年代になった人におすすめかなって思いました。読みやすいと思います。

ー素敵ですね。物語の力を借りて、自然と命について考えられたり触れられるっていうのはいいですね。

かえる めっちゃ身近に感じます。おすすめです！

ー小説を読むことが多いですか？

かえる はい。小説ですね。夏目漱石や谷崎潤一郎が好きなんですけど、文語は読めないから、本当は文語が読めるようになりたいです。あと、江戸川乱歩が好きですね。おすすめです。短編から読むのが絶対いいと思います。



ー続いて、おにぎりさんのおすすめの本を教えてください。

おにぎり 3冊持ってきました。1冊目は『夜に駆ける YOASOBI小説集』（星野舞夜ほか著／双葉社／2020年）です。YOASOBIは小説を元に作られた曲が多くて、その元になっている小説を集めた本です。もともと曲は知っていましたが、小説を読んでから曲を聞くと、そういう繋がりがあったんだ、と色々気付くことができ、音楽を聴いたらまた小説も読みたくなるし、何回も読みたくなる本です。

かえる そういう音楽とリンクしてるみたいな本は読んだことない。

おにぎり 特に「夜に駆ける」の話がすごい。最初思っていたのと違う展開になっていくので、そういう意味だったんだ！っていうのがすごいです。うまく言葉で表せないけど、あー！ってなります。2冊目は『恋とそれとあと全部』（住野よる著／文藝春秋／2023年）です。私は住野よるさんの本が結構好きで、図書館に置いてあって手に取りました。こういう恋愛の形があってもいいなって思いました。はっきり付き合うとかじゃなくて、このままの関係でもいいよね、っていうちょっと曖昧なのもまたいい感じだなって思いました。終わり方がよかったです。3冊目の『ぼくらのきせき ほのぼのログ』（藤谷燈子著／深町なか原案／KADOKAWA／2015年）は短編集なので、すごく読みやすかつ



たです。私は長編を読むのが苦手な方なんですけど、この本は1つ1つの話をそこまで読もうみたいな感じで読めて、すごく読みやすかつたのが印象的です。これも恋愛の話です。読み終わったあと、ほっこりします。

かえる わたしもほっこり系好き。やっぱり冬はほっこりしたいです。

ーお二人とも図書館の本からおすすめ本を選んでいただいております。本を選ぶ時はどんな風を選びますか？

**おにぎり** 著者だと、住野よるさんの本はあったら手に取ってしまいます。あと、表紙の絵がきれいだなって思ったら、手に取っちゃうことがよくあるかもしれません。

**かえる** 知らない作家だったら、本に書いてある著者紹介を見ます。デビュー作や最新作、受賞作って書いてあるから、受賞作だったら賞を見てジャンルを判断して、まず受賞作を読んで、面白かったらデビュー作も読んでみる、みたいな感じですね。知っている作家は、その時の気分、読みたい作品の感じで決めます。



### 3つの質問

ー3つの質問のコーナーです。①今はまっているものを教えてください。

**かえる** 韓国ドラマです。今見ているのは「なぜオスジェなのか」という法廷ドラマです。今は私が法学部に行きたいから、法廷ドラマとかばかり見えています。

**おにぎり** 韓国ドラマって法廷ドラマもあるんだね。恋愛ドラマのおすすめはある？

**かえる** 恋愛ドラマもめっちゃ見る。恋愛ドラマめっちゃいい。また調べておすすめするね。韓国の方が日本より冬が長くて寒いから、寒い季節を題材にした恋愛ドラマを見ると、ほっこり、あったかくて、冬に見るのが結構おすすめかもしれないです。あと、韓国料理がめっちゃ食べたくくなります。

ー韓国ドラマ、見たくくなりました。続いて、おにぎりさんはどうですか？

**おにぎり** ギターです。5月ぐらいから週に1回、教室に通っています。もともとピアノをしていて、音楽が好きなので、ちょっとギターも挑戦してみようと思って始めました。11月末に発表会があるので、ちょっとがんばって練習しています。

ー発表会では何を演奏されるんですか？

**おにぎり** 童謡の「ちょうちょう」や「大きな古時計」です。みんなで弾いて、先生が伴奏をつけてくれます。

ー楽しみですね。練習がんばってください。



ー前回のドリアさんからの質問です。②夏休みの思い出を教えてください。

**かえる** 金沢に行って、温泉旅館に泊まったことです。夏休みに結構旅行へ行ったから、旅行が1番の思い出です。あと、仙台にも行ったんですけど、松島がめっちゃおすすめです！結構よかったです。松島は湾がめっちゃ広いんですよ。松尾芭蕉が行った場所ということで、確かにこんな景色がずっとあったら俳句が詠めそうだと思います。

**おにぎり** 私は、津の花火大会です。楽しかったです。海岸の砂浜のところで見ました。屋台もあったので、色々食べて楽しかったです。ゆかたも着て、花火大会を楽しんできました。

ーからべるさんからの質問です。③出身地はどこですか？

**かえる** 東京の三鷹です。三鷹の森ジブリ美術館は、本当におすすめです！絶対に行った方がいいです。三鷹は、ちょっと森もあるし、住宅街って感じだから、落ち着いた場所です。

**おにぎり** 津市です。給食で出る津ぎょうざが好きでした。住んでいるところが田舎なので、めっちゃのんびりと時間が流れているので、そこは結構好きです。

ー今日は楽しいお話をたくさん聞かせていただいて、ありがとうございました。

**かえる・おにぎり** ありがとうございました。



●かえるさん●

『クスノキの番人』

(東野圭吾著/美業之日本社/2020年/913.6||H 55)

●おにぎりさん●

『夜に駆ける YOASOBI小説集』

(星野舞夜ほか著/双葉社/2020年/913.68||H 92)

『恋とそれとあと全部』

(住野よる著/文藝春秋/2023年/913.6||Su 63)

『ぼくらのきせき ほのぼのログ』

(藤谷燈子著/深町なか原案/KADOKAWA/2015年)

12



次の2人へ  
本つなぎ。  
次回もお楽しみに♪

# Book design

## の世界

vol.34

藤田 知子 さん

本を選ぶ時、表紙や本のデザインに惹かれて選ぶことがあります。本を開くとそこに書いてある「装丁」という言葉と名前。

本のデザインをする方を装丁家やブックデザイナーと言います。この連載では本のデザインや装丁から、本を楽しみたいと思います。

第34回目は、藤田知子さんです。

今回は、藤田知子さんの装丁をご紹介します。

はじめにご紹介するのは魅力的なアンソロジーシリーズです。

### 『坂木司リクエスト！和菓子のアンソロジー』

(小川一水 ほか著／光文社／2014年／913.6||O 24)

### 『近藤史恵リクエスト！ペットのアンソロジー』

(我孫子武丸 ほか著／光文社／2014年／913.6||A 13)

### 『大崎梢リクエスト！本屋さんのアンソロジー』

(飛鳥井千砂 ほか著／光文社／2014年／913.6||A 93)

人気作家がテーマを選び、この人が書いた作品が読みたい！という作家に執筆を依頼するという、贅沢で楽しい一冊です。カバーイラストは谷山彩子さんによるもの。和菓子、ペット、本屋さんをモチーフにした様々なイラストが描かれ、ポップでワクワクするようなデザインです。バラエティに富んだ様々な作品に出会うことができる、そんなアンソロジーの魅力が伝わってくるデザインです。

カバーデザイン：藤田知子  
カバーイラスト：谷山彩子

『戦場のコックたち』（深緑野分著／東京創元社／2015年／913.6||F 72）は、第二次世界大戦下、コック兵となった19歳のティムが仲間と共に戦場という非日常の中で日常の謎を解き明かすストーリーです。民野宏之さんによる装画には作品に出てくる道具や携帯食が描かれており、戦場での生活が感じられます。ホッとする要素もありながら、戦争と日常について考えさせられるような装丁になっています。



Illustration：民野宏之  
Book Design：藤田知子

最後に『わたしの本の空白は』（近藤史恵著／角川春樹事務所／2018年／913.6||Ko 73）をご紹介します。記憶を失った主人公・三笠南は、違和感を感じながら日常を過ごす中で、ある出会いに心を動かされていきます。イラストレーターの北澤平祐さんによる装画には、作品に登場する様々なモチーフが描かれていて、主人公の記憶の奥底をのぞき込んでいるように感じます。カバーのそでの部分から、折り返した表紙に描かれたバラの模様がのぞいているのがワンポイントになっています。主人公の記憶をめぐるサスペンスの雰囲気を引きだてる美しい装丁です。



装画：北澤平祐  
装幀：藤田知子

今回ご紹介した藤田知子さんの装丁は、本を手にする時から読む時、そして読後の余韻まで演出されているように感じました。

Book design の世界 次回もお楽しみに！

参考：「お仕事『わたしの本の空白は』」, 北澤平祐オフィシャルサイト, 2018/5/14,  
参照 2023/10/26, <https://www.hypehopewonderland.com/?p=11869>

## ちよこちよこ日記 #44 「大成功！」

今回は「Bon Appétit」をテーマに本をご紹介します。おもしろそうな本がたくさんあって、私も作ってみたくになりました。



### 『おいしい楽しい! しあわせ4コマレシピ』

(まいのおやつ 著/ワニブックス/2023年/596頁|Ma 31)

に載っている料理を作ってみることにしました。この本では、4コマまんがの形でレシピが紹介されていて、かわいいイラストを見ながらどれを作ってみようかなと考える時間も楽しい

一冊です。以前、この本の表紙の「餃子の皮でもっちりラザニア」を作ったらおいしくできました。今回は「かぼちゃ肉巻きのカレータルタルがけ」を作ってみました。今までかぼちゃ料理にほとんど挑戦したことがなかったので、かぼちゃの固さには苦戦しましたが、とてもおいしくできあがって、大成功でした！新しいかぼちゃのおいしさを発見できました。



みなさんもぜひ作ってみてください。

次号 No.105 は、2024年2月発行予定です。

## こんな本読んでみて No.104

2023年12月1日 発行

編集・発行 三重短期大学附属図書館

〒514-0112 三重県津市一身田中野157

<http://www.library.tsu-cc.ac.jp/>